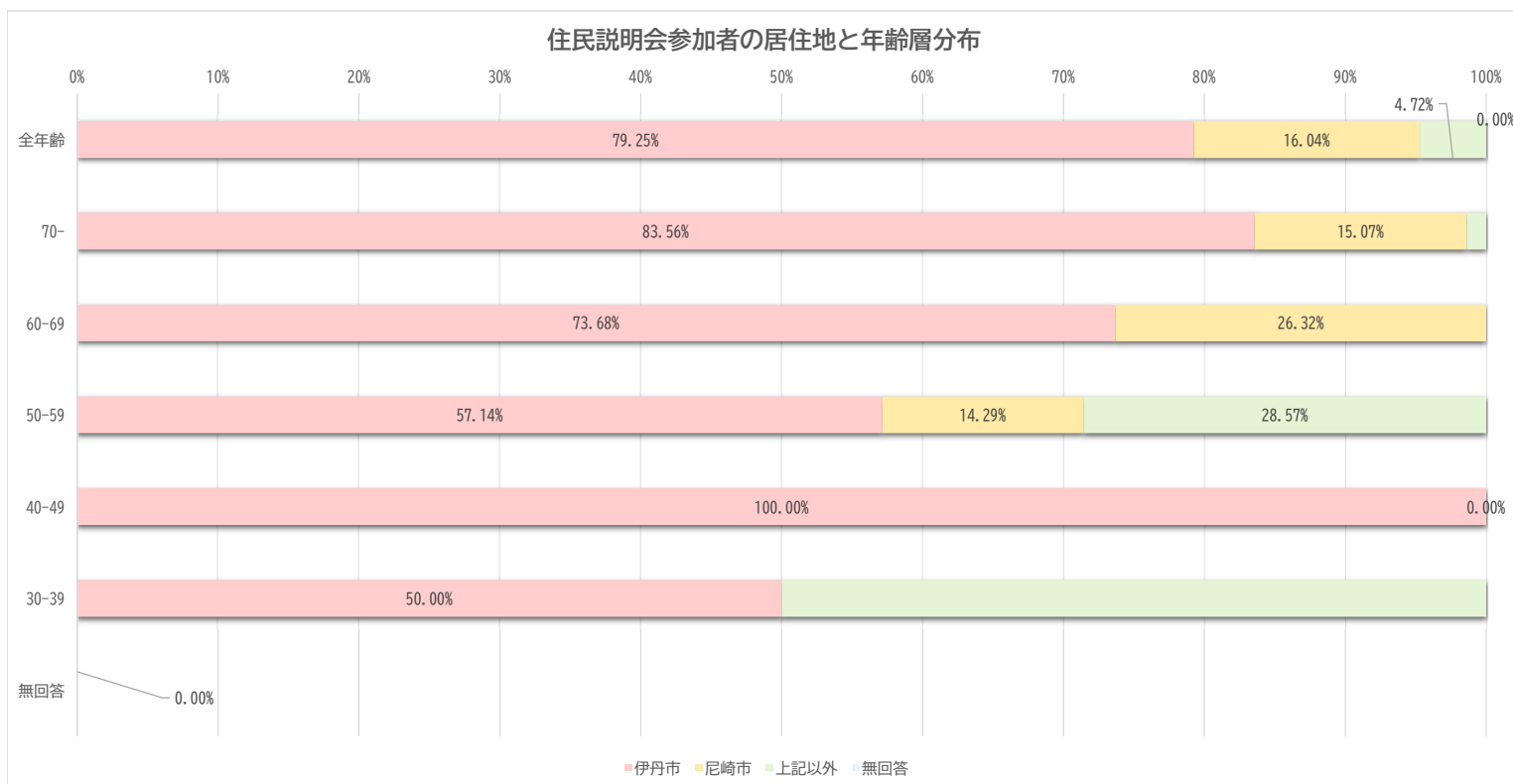
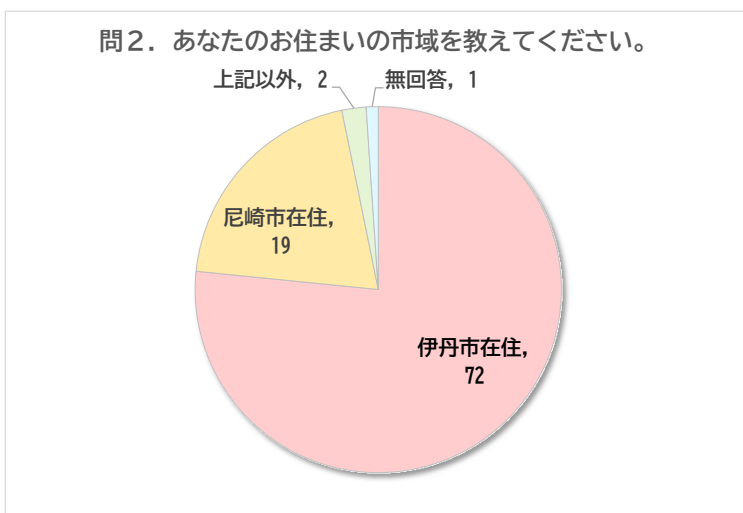
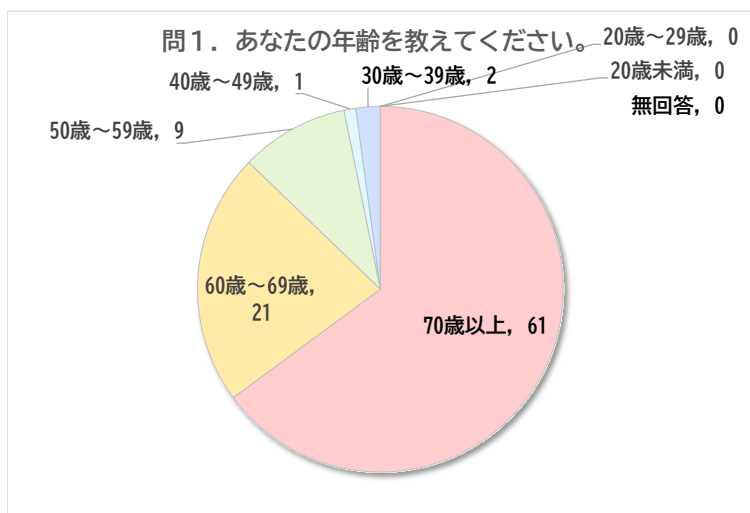


R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

住民説明会参加者数	139名
アンケート調査回答者数	95名
回答率	68.35%



R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

① 近畿中央病院の診療休止後の対応等(医療機能継続含む)に関するご意見

○住民説明会意見交換における回答(全6項目)

診療休止に関する、直近での受診がない患者様への周知につきましては、患者の皆さまが、他の医療機関に受診された際、従前近畿中央病院を利用されていたことが分かりましたら、当該医療機関の医師の判断にもなりますが、情報が必要だということであれば、近畿中央病院の後継事務組織の方に、お問い合わせがあると思います。

そのため、患者の皆さまへのお知らせという形ではなく、他の医療機関の医師と後継事務組織とのやりとりになると思います。

診療情報の引継ぎにつきましては、市立伊丹病院の方、近畿中央病院を診療休止の5年以内に受診された患者様、直近5年以内に受診された患者様の電子カルテについては、すべてデータが参照できるようになっています。

一方、紙カルテ時代の非常に古い記録につきましては、近畿中央病院の電子カルテを加工した、平成20年頃以降の記録についてはすべて参照できるようになります。

市立伊丹病院の電子カルテに現状IDがある方については、紐付けを行えますが、カルテ保存の法的な関係もあり、25年前の紙カルテの情報は保存期限が過ぎていると思われるので、そのケースでは紐付けすることなく新しい患者様として、データ移行して対応することになると考えております。

また、尼崎市民の方が、市立伊丹病院以外の病院をご利用される場合の診療情報の引継ぎにつきましては、患者様一人一人の病状を十分に考慮した上で、できる限りご希望に沿った形で紹介先を探しているところでございます。

市立伊丹病院とは別の医療機関をご利用される場合は、例えば関西労災病院、尼崎総合医療センターをご利用される場合は、紹介時に必要となる診療情報を添付した上で紹介しております。

現在、近畿中央病院を利用されていない方についても、紹介先の他の医療機関から近畿中央病院の診療情報に関する問い合わせがありましたら、近畿中央病院の後継事務組織が窓口となりまして、医療機関同士で診療情報等の提供、共有が可能になっております。

市立伊丹病院以外で受診された場合の、診療情報の引継ぎ期間につきましては、他の医療機関から近畿中央病院の診療情報に関する問い合わせにいつまで対応されるのかという点につきましては、今回診療休止という事態を受けまして、暫定的ではありますが、後継事務組織を立ち上げますので、当該組織が稼働している期間については、対応させていただく予定としております。

後継事務組織の運用期間につきましては、後継事務組織の運用停止=両病院が完全に統合したということになりますから、以降につきましては、統合基幹病院の方で対応する形になります。

No.	記述内容
1	現在、近中を利用していますが、具体的な解答がなく不安でたまりません。
2	新しく病院を建て直して再開すると思っていたので、違うことがわかり、残念。 職員さんの雇用を守ってほしい。職員さん自体、今後どうなるかわからないとの話であった。他の病院等でもよいので、全員が希望通りの職に就けるようにしてほしい。 人間ドックを利用しているが、来年度以降は伊丹病院で受信することになるのか。データ移行してもらえるのか、わからず困っている。
3	特にありませんが私は尼崎に近い所に居住しています。近中に何度かお世話になった者です。近中には歩いて行けませんが、今更変えになると、タクシーが多くなるのかと思います。年金生活では費用の件で心配です。近中に病院が建つと嬉しいですが、情報が早く判るようお願いいたします。
4	説明会といっても当初近中の(休止?)は伊丹病院がきちんと診療ができると言いつつ(休止?)は前倒しになっているにもかかわらず新伊丹病院はいつ全診療ができるのかの説明もないままの説明会であり、しっかりしたものではありませんでした。残念です。
5	後継組織の連絡先はいつ、どこで分かりますか
6	跡地がいつからどのような診療科の病院が開院されるのか、最速で知ることができるといいなと思います。
7	どちらにしても近中がなくなってしまうのは、やはり不便です。MRIやCTを取っていただくような時、市民病院他の病院へ行かざるをえないですが、基本、こういった医療機械機器がある町医者といわれる医院が増えることを願います。

R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

② 地域医療提供体制の確保に関するご意見

○住民説明会意見交換における回答（全6項目）

市立伊丹病院における、入院・外来患者の受け入れにつきましては、これまで地域において中核的な役割を果たしてこられた近畿中央病院の診療休止を受けまして、同じ市内の公立病院の責務として、近畿中央病院がこれまで受け入れてこられた患者の皆さまを、できる限りに多く受け入れていかなければならないと考えているところでございます。

そのためには市立伊丹病院において、患者受け入れ体制の整備に速やかに着手し、市民の皆さまに不安が生じることのないよう、その方向性をいち早くお示ししていくことこそが、今最も求められているものであるという認識のもと、これまで、検討進めて参りました。

それらを踏まえまして、本日お示しする資料が、地域の提供体制の確保に向けていた病院における、この4月以降の受け入れ体制の強化について、ご説明する内容となっております。

市立伊丹病院における診療科の新設拡張ということで、大学医局との調整により専門医を招聘することにより、近畿中央病院にあって市立伊丹病院にない腎臓内科を新設します。

現在常勤医が不在となっております耳鼻咽喉科、脳神経内科に常勤医を招聘することで、入院治療にも対応してまいります。

現在常勤1名の脳神経外科、そして多くの症例数を近畿中央病院で対応しておられる、眼科、歯科口腔外科において、医師数を増員しまして、診療体制の拡充を図ることで、受け入れ体制を強化してまいります。

また、近畿中央病院の職員の先行受け入れとして、令和8年4月より100人規模の職員を、市立伊丹病院で先行して受け入れることで、地域の提供体制の維持のために必要な人材の確保に努めてまいります。

市内外にかかわらずできるだけ多くの入院外来患者の皆さまを、現行の市立伊丹病院において受け入れる体制を整備してまいります。

診療科拡充等に向けた必要機器の移設につきましては、脳神経内科そして脳神経外科の医師を、新たに招聘することについては、大阪大学とも緊密に連携をとって、医師を送ってもらうことになりました。その中で、必要な医療機器については近畿中央病院から市立伊丹病院に引き継ぎを受けます。

また、腎臓内科、耳鼻咽喉科、脳神経内科、脳神経外科、眼科、歯科口腔外科のすべての6科は4月から人員を強化します。透析患者さんだけでなく、透析に至らない方、保存期腎不全の患者様についても、しっかり対応していきます。

近畿中央病院の救急搬送患者の引継ぎ体制については、令和7年の1月から12月まで、市立伊丹病院は、全体で件数が昨年よりも500件以上増えております。

一方で、近畿中央病院は、徐々に件数が減ってきておりまして、令和7年におきましては、市立伊丹病院での増加受け入れ件数と同程度、救急搬送件数が減少しておりますことから、近畿中央病院の救急件数が徐々に減少している部分については、なんとか市立伊丹病院で対応することができているという認識です。

さらに直近では、今年の1月につきましては、伊丹の搬送は、1月69件とありますが、昨年と比較しますと、近畿中央病院100件程度、1月の件数も減っている一方で、市立伊丹病院は、1月の件数は逆に同程度増やすことができっております。

我々の方も、徐々にいろいろな受け入れ体制の強化を図っておりまして、人員体制であるとか、院内の運用体制の見直しであるとか、そういうことで、徐々に受け入れ体制も強化していく中で、何とかカバーすることができているのではないかと考えております。

No.	記述内容
1	近中に長い間お世話になりました。信頼のおける医療を受けることができ感謝申し上げます。ありがとうございました。 だからこそ近中の後の医療が気になります。丁寧に引き継がれていると伺いながらも、今度病気になったときに「どうしよう」と、伊丹病院まで通院できるか不安になりました。市民病院でない病院等と連携して、治療してもらえるとわかり安心しました。
2	跡地活用について入札結果が出来次第すみやかに公開して欲しい。スケジュールを知りたい。
3	病気の方が行きやすい観点で計画を進めて欲しい。車塚周辺の医療環境が空白にならない様ぜひ考えて頂きたい。
4	本年6/30以降の話は確実に実施してください。
5	伊丹病院との連絡については、密に計画されていますが、尼崎市民は関西労災病院や尼崎総合医療センターに行く方が多いと思います。 その場合、カルテ等の引継ぎはどうなるのか、患者が個人的に対応しないといけないとすれば、高齢者には困難だと思えます。 本日、答弁して下さったように対応していただければうれしいです。今の時代、車いすが乗れないバスはありえないと思えます。

R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

③ 跡地に誘致する民間医療機関の診療機能・スケジュール等に関するご意見

○住民説明会意見交換における回答（全6項目）

これまでの経緯としましては、昨年の住民説明会では、近畿中央病院として新病院の開院まで診療継続していきたいということで、ご説明を差し上げました。その上で、当時の計画であれば、令和8年度中に公募を開始するとご説明差し上げたかと思えます。

その後、大変申し訳ないことですが、令和8年度末をもって、近畿中央病院が診療休止することを決定いたしましたので、それに紐づく形で、跡地への医療機関誘致の計画を前倒していくところとなりました。

その上で、1月末によいよ公募を開始したということが、現状の実態となっております。

近畿中央病院診療休止後の患者様からお問い合わせ等窓口につきましては、近畿中央病院に後継事務組織を作ることとして準備を進めております。

後継事務組織については、改めて、伊丹市の広報でもお知らせをいたしますが、そちらの方にご照会等をいただければと思います。

跡地に関する土壌汚染についてですが、現状の近畿中央病院建物を解体して新たに新築する場合に、土壌汚染調査をする必要があると考えております。医療機関を誘致するとしますと、安心して医療提供を受けていただくことが必要になろうかと思えますので、土壌汚染調査が必要であると考えております。

土壌汚染調査を行う際には、近隣住民の皆さまの日々の生活に影響が出ないような形で細心の注意を払って、実施する必要があると考えております。

より詳細な、具体的なスケジュールなどにつきましては、今回、公募という形で事業者を募集しておりますので、つまびらかに詳細をお話することはできませんが、公募の対象としておりますのは、回復期機能を持つ医療機関、阪神医療圏内において、病院を運営している法人を対象に、公募をかけているところでございます。

現在の応募状況についても、説明会の場で、詳細をお話することは控えさせていただきますが、いくつかの事業者から、関心があるとの声はいただいております。

次の説明会につきましては、今日以上に跡地誘致の部分についての具体的なお話を、皆さまお聞きになりたいだろうと思えます。

今現在のスケジュールですと、今日ご説明差し上げましたとおり、6月30日まで関心のある事業者に手を挙げていただくということになりますので、説明会の開催はそれ以降になります。

例えば、売却先が決定したであるとか、そのような内容を、皆さまに情報提供できればと思っております。

具体的な答えにはなっておりませんが、本日の説明会では具体的な日程をお答えできかねますが、引き続き、情報提供に関しては適宜させていただきますので、よろしくお願いいたします。

No.	記述内容
1	跡地活用が具体的に出されなかったのが残念です
2	跡地活用の具体的なスケジュールが聞きたかった。昨年5月に閉院を発表してから、公募を1月に始めたのは遅いのではないか。
3	近中跡地に回復期病院が地域医療に安心情報として公報されることを願います。
4	66歳なので、跡地は療養型病院か特別養護老人ホームにしてほしいです。
5	跡地利用が気になる場所です。老人ホームになるという話も聞いていますが、医療機関の方向で進めるのですね。今後も、情報を伝えて下さい。
6	近中跡地活用の今後について広報窓口を市報等で公表して下さい。
7	近中は近かったのでよく利用していました。また病院が入る事を希望します。
8	近畿中央病院後の新しい病院を早急に建てて欲しい。進行が遅過ぎる。
9	跡地の事を聞きたかったです。
10	「跡地活用の状況について」とタイトルがあるのに、殆ど説明がなく残念である。
12	次の病院誘致が決まれば住民説明会を開いて詳しいことを教えて欲しい。 老人施設も誘致できれば良いと思う。 外来の整形外科（リハビリできるところ）が近くにないので是非来てほしい。 市バスで市民病院へ行けるようにして下さい。
14	回復機能を有する民間医療機関を誘致する計画について、前回と変わっておらず、グレーゾーンの問題ではありますがもう少し進捗を細かく知りたい。 本当に民間医療機関を誘致するのか疑問に思う。
15	資料の7ページは、全く進展ない内容に内容がっかりした 市民の患者を、なめている！ 伊丹病院の建設が急ピッチで進行しているが、新しく、断層が発見されたというNewsがあり、更に遅れてそうである。
16	近中跡地の活用について、もう少し情報が欲しいです。 近中の跡地について、建物を取り壊した後、土壌汚染があれば対策しますという発表です、では、今までの説明と変わらない。 今の現状は、どうなっているのか？そこが知りたいです。進んでないのでしょうか？と思ってしまいます。 11の医療機関ということが昨年説明がありましたが、具体的にそこへの働きかけはどうなっているのか、教えてほしいです。あまり見えてこないです。

17	跡地にどんな病院が手を挙げているかを知りたかったのに、何もなかった。
18	近中跡地の具体的な情報を半年後には提示する為の説明会をお願いします。
19	跡地にはぜひ回復期だけでなく、治療も可能な医療提供できる様にしてください。
20	資料も手渡されプロジェクターで質問と解答もあり、説明が良く理解できました。会場質問にありました様に近畿中央病院のあと、どの様になるのが、現在わかっている範囲で説明してほしかった。近畿中央病院があるから「転入した」「住んでいる」との声もあります。「あと」に1日も早い医療機関が建立されることを願っています。
21	跡地病院の公募について、募集内容を詳しく告知すること。どういう病院でいつまでに公募結果は6月末にはと質問の最後にいわれてましたが、もっと正確にお知らせること。

R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

④ 統合新病院の医療機能・移行等に関するご意見

○住民説明会意見交換における回答（全6項目）

No.	記述内容
1	現在は市民病院を受診していませんが数年たってもデータの引継はスムーズに出来ますか？
2	先行着工した健康管理施設を近中サイドが運営と聞いたが、職員100名でたりるのですか？
3	伊丹市民HPの診療科を残すにあたって診療成績を精査の上（縮小、拡大）、近中の実績ある診療科（例えば眼科）など積極的に推進してほしいと思う。 職員の移動人数は100名程となっているが各職種人数を教えてほしかった。
4	伊丹市立病院の完成時期？
5	今のところ、西宮市、尼崎市の病院でお世話になっているので、特に不便を感じていませんが、伊丹市立病院が早く完成することを望みます。

R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

⑤ 交通アクセス利便性向上に関するご意見

○住民説明会意見交換における回答（全6項目）

診療休止による市バスへの影響については、伊丹市バスは公営企業であり、利用者の皆さまにお支払いいただく運賃収益で対応している状況ですので、運転手不足や様々な経費がかかる中、努力をされてバス路線を現状維持されている状況と伺っております。

今回、R8年4月から2年間の間、速やかに運行させていただくべく、公立学校共済組合とも様々な調整を経て、運行の実現に向けて進めているところでございます。

シャトルバスの運営状況について、どの時間帯にどの程度の利用者数があったかなど、市の交通局、市の交通施策担当部門とも情報共有をするということで調整しております。

今回、近畿中央病院が診療休止される影響で、どれだけ市バスの乗車人数が変化するかについて、市交通局でも乗車人数を把握する仕組みができていますと確認しております。

シャトルバスを運行する2年間の状況を見ながら、市バスについては、市内の交通政策の一環ということで、例えば、ダイヤ改正でありますとか、経路についてどうするのかなどを判断する中で、皆さまの移動手段を維持する必要があるということも含めて検討していきたいと、市交通局からも確認しておりますので、本日の説明会での皆さんからのご意見を市交通局にもお伝えさせていただきたいと思っております。

交通アクセスの事業推進やその手法については、皆さまからのご意見は、種々いただいております。また、全小学校区で市長がタウンミーティングを実施される中でも、色々のご意見を伺ったと聞いております。市交通局でも、その内容につきましては、一定の回答をされていると確認しており、私どもの方でも、その内容は確認しております。

本日の説明会にてご意見いただいた内容につきましても、改めて市交通局、市の交通政策部門とも共有させていただき、交通アクセスにつきましては、引き続き、検討させていただければと考えております。

マイクロバスの運行につきましては、これまで様々なパターンを検討させていただき、市バスでシャトル便ができないか、もう少し大きなバスでの運行ができないかといった検討もしてまいりました。

同時に考えなければならないこととして、3月末で近畿中央病院が診療休止となるため、4月には運行を開始したいということに加え、費用面についても、様々な手法から試算をさせていただきました。

市立伊丹病院は、ご存知のとおり、経営状況が非常に厳しいので、費用面の視点からも様々なパターンによる検討、試算を行いました。民間事業者や市交通局にも、様々なパターンについて、調整、検討させていただきましたが、やはり人手不足、経費が非常に高額になるという結論に至りました。また、この度運行を予定しているシャトルバス以外には、市内各路線を市バスが走っておりますので、運輸関係の制約もございました。

様々な検討を進める中においても、やはり、この4月から、まずはシャトルバスの運行を開始して、少しでも皆さまに影響が出ないよう、交通アクセス対策を迅速に対応したいという思いから、最終的に現在の形で進めさせていただきたいということで、手続きについても、進めているところでございます。

皆さまのお気持ちは十分、理解しておりますが、様々は検討項目を現実的な視点で対応するためにも、この度の無料直通シャトルバス運行による、交通アクセス向上策を、進めているところです。

想定以上の利用者、車いす利用者が増えた場合の、再度の検討につきましては、今後の運行実績を十分に検証する必要があると考えておりますが、各種手続き上の課題などを考慮しますと、急に増便する、バスを大型化することなどは、難しいのではないかと考えております。

今後、乗車人数を把握させていただく中で、今後の対応方法を市交通局、市の交通政策部門と情報共有しながら、市全体としてどうするのかという点も含めまして、検討したいと思っております。

シャトルバス運行開始時期につきましては、関係機関とも各種調整をしておりますが、4月1日からの運行ということで許可を受けようとしておりますことから、申し訳ございませんがそのように進めさせていただければと思っております。

No.	記述内容
1	シャトルバスがたったの9名、しかも車椅子は不可というのは納得いかない。有料でもいいので大きい車を用意すべき。
2	伊丹新病院へのアクセス ・伊丹の南部地域から伊丹新病院への市バスの運行（現行バスのルート変更）を願います。 ・伊丹新病院へのアクセスの市バスは当然、運行すべきです。
3	伊丹市内南部に住む者として今回の病院統合に関わらず市立伊丹HP及び市役所へ何う時14時台のバスの運行が無いのは非常に不便です。是非共ご一考下さい。現状ではこの時間帯その都度阪急伊丹駅まで行き、乗り替えて病院及び市役所へ行っている状況です。大変不便です。
4	市民病院行の市バスがあるとうれしいです。
5	1時間に1本で9名しかのれない。シャトルバスの運行は、子供だましのように思います。増便を求めます。市バスの運行はできませんか。
6	交通アクセスの更なる充実を検討して欲しい。
7	近中無くなったあとの市バス運行本数減少が気になります。現状維持を希望します。
8	近畿中央ー伊丹病院以外のルートを

9	シャトルバス9名乗れなかった人は1時間後になるため、せめて1時間に2本運行して欲しい。 下手すると患者は伊丹市民病院ではなく、他の大病院に行ってしまうことも十分考えられる。
10	市立伊丹病院への通院も、アクセスが1本/hでは急病のかけこみが望めない。 自転車での診療は間に合わない（80歳半ばです）。 アクセスについては、市バスの路線（増便）を具申したい。
11	アクセスの検討をお願いします。市バスのダイヤも検討してください！
12	交通アクセスに関して、野間あたりから伊丹病院への市バスを増やしてほしいです。
13	アクセス、市バス、シャトル便の確保をお願いします。
14	老人が多くなっていきますが、交通の便がよくなければ、利用できにくくなります。弱者のこともよく考えて計画して下さい。
15	アクセスバスについて、大きい道路より伊丹市民へのバス（直通）があれば、もっと、利用しようと思うのですが。
16	市バスの回数が減ってきている。身体が悪いとき、しんどい身体でいけるか。 近くの病院があったのに・・・。環境がこわされていく。
17	是非、市バスで市民病院通院に便宜を図ってほしい。
18	近くの病院があり、心強く思っていましたが残念です。2年間の病院間のシャトルバス運行はありがたいですが、市バスで2時間に1本しかない時間帯があります。これでは通院は無理です。4月からでは遅いのでは？現在通院しているのでデータは引継ぎできてない。
19	市立伊丹病院へのシャトルバスですが、車いすも対応できる様にしてください。
20	2年間限定でなくバスの運行が続くことをお願いしたいと思います。

R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

⑥ 住民への対応に関するご意見

○住民説明会意見交換における回答（全6項目）

No.	記述内容
1	配布資料をもう少し詳細に明記をお願いしたいです。
2	住民の不安がぬぐえていない。

R8.2.23 住民説明会 アンケート調査結果

⑦ 其他のご意見

○住民説明会意見交換における回答（全6項目）

No.	記述内容
1	質問時間が長すぎる。
2	よく分かりました。
3	[171]の5差路の改良または南北の横断（車椅子を含む）方法の改良を検討してください。
4	決まったことは着実に進めて欲しい。 赤字だと思うので受け入れ(近中→市伊丹)た際の人件費はもっと高くなると思う。 収益確保のために①入院患者の増 ②単価の増 ③救急患者の増 ④地連の強化で市民の税金をなるべく使わないようにしてほしい。
5	ヒナダンに人間が並列するだけで何も進展しない。もう少し具体的な進展はない。
6	参考になった説明がありましたので参加させていただきよかったです。
7	宜敷く御願います。
8	有難うございました。
9	参加させていただき色々学ぶことができありがとうございました。本当に大変です。感謝しています。
10	具体的提案等がほとんどない、希望なり努力する等の話ばかりです。
11	もっと具体的な説明が欲しい！！
12	もっと具体的な話を聞きたかった。これでは何のための説明会か分からない。
13	伊丹市役所職員及び伊丹市民病院、近畿中央病院関係者各位の伊丹市医療へのご尽力に感謝申し上げます。進捗等理解できました。
14	関係各位、熱心に取り組んでいただきありがとうございます。出された質問にはこれから取り組んでいただくものもあると思います。